

岡山県総合文化センターニュース

県内美術館所蔵作品紹介

やかげ郷土美術館

『残雪の駒ヶ岳』 さとう いっしょう 佐藤一章 作

厳しい自然と立ち向かいながらも微動だにしない山の偉大さを、ややデフォルメされた山の姿として大胆な筆触で描かれている。当時「近代絵画は平面処理に徹しなければならない。」と、たびたび口にしていたと言われる。この作品は、平面処理を超えフォーヴィスム的な表現で、山の雄大さだけでなく生命の躍動感をものぞかせている。また、この作品が制作されたのは、郷里での職（岡山大学教授）を抛ってまで川崎市のアトリエに移られた後の昭和32年で、自らの境遇にも厳しさを課せた作者の発露と不思議に重なり合う。



〒714-1201 小田郡矢掛町矢掛3118-1 TEL(0866)82-2110

やかげ郷土美術館

やかげ郷土美術館は、歴史と文化の薫る町にふさわしい町家風の外観をもつ美術館として、平成2年に開館しました。展示室では、矢掛町出身の書家・田中塊堂と洋画家・佐藤一章の作品を展示しその業績を顕彰するとともに、地域に根ざした文化芸術活動の拠点として、文化講座開催やギャラリースペースを提供し、文化の風土づくりをめざしています。

交通 井原線矢掛駅下車徒歩7分
井笠バス矢掛西町下車徒歩3分
山陽自動車道玉島インター・笠岡インターより約20分

新 県立図書館と図書館ネットワーク

去る5月25日、新県立図書館基本計画中間まとめが発表された。その中で、新県立図書館の基本的性格について、次のように記されている。

1．県民に開かれた図書館

県民の参画で作る開かれた図書館とし、県民が必要とする資料・情報を、すみやかに検索・利用できる機能と蔵書構成、及び豊かな読書や各種文化活動を行うことができる環境を整備する。

2．県域の中核となる図書館

県内の公共・大学・学校図書館等をはじめ、国立国会図書館や都道府県立図書館等との連携と協力のもとにネットワークを確立し、県域の中核となる。

3．調査・研究センターとしての図書館

高度情報化や生涯学習社会の進展に伴い、県民の要求も多様化・専門化することが予想され、これらの知的ニーズに応え得る調査援助機能を備える。

4．メディアセンターとしての図書館

国内のみならず国際的視野に立った幅広い資料・情報を収集、加工し、さらに岡山情報ハイウェイ時代におけるメディアセンターとして、他の情報関連メディアの積極的な導入も図りながら、県下各界各層への多様な情報の受発信基地となる。

5．資料保存センターとしての図書館

県民の知的財産である資料・情報を収集・整理し、保存して後世へ継承するとともに、広域的に有効な活用を図る。

これらは、従来図書館が担ってきた「役割」を十分に発揮し得る能力を持ち、その上に21世紀の高度情報化社会における図書館の「新たな役割」をも果たす機能を兼ね備えた、すべての県民のための図書館づくりを念頭に置いたものである。

さて、「高度情報化社会に対応した図書館の機能」について考えてみると、大きく二つの側面が想定できる。

一つは、多様な「情報」への『窓口としての図書館』という側面である。「知識・情報への

窓口」という点では、従来の図書館機能を踏襲するものであり、来館者に対して提供する資料がデジタル情報にまで拡張されるということである。さらに、提供の仕方が、インターネットへのアクセスという形態も含むようになるところが、施設的にも大きく変わるところである。

もう一つは、『情報発信施設としての図書館』という側面である。特に、全県民を対象としたサービスを考える県立図書館においては、県民の居住地に関係なく情報提供をする方を講ずることが重要になってくる。

その点では「岡山情報ハイウェイ」という環境は、もっとも効果的に活用できるものである。この環境を利用して、まず広く図書館の情報を公開する仕組みを考えたい。そして、その情報に基づいて必要な資料を手元に届けるしくみを構築する。これが、『図書館ネットワーク』の基本的な考え方だ。

特に、インターネットの導入が進んでいる教育現場に対して図書館から学習情報を発信することは、学校の学習支援としても、また、将来の図書館利用者としての県民を育てる上からも重要なことであると考えられる。



図書館ネットワークによる総合的な図書館情報提供システム（分散型総合目録検索）を早期に実現することは、市町村立図書館と小・中学校図書室との結びつきを強め、図書館界から学社融合を進める岡山県ならではの施策として、全国に誇れるものになるのではないだろうか。

この点で、ぜひ市町村の図書館のご協力とご理解を賜りたい。

おがやま人物往来 ⑤0

しゅんじょう ぼう ちやうげん
俊乗房重源



重源坐像 複製
(原品 新大仏寺)
岡山県立博物館蔵

「本朝高僧伝」(『大日本仏教全書』所収)によると、重源は京都の紀氏の出。真言宗京都醍醐寺に入って出家、のち法然に学んだという。47歳の仁安2年(1167)宋に渡り、翌年帰国。帰国は栄西と一緒にあった。岡山の人ではないが、岡山の歴史を語る時欠かせない人物の一人である。

重源の名前が一般に知られるのは、東大寺再建の中心人物として活躍したためである。養和元年(1181)60歳の時、重源は前年平重衡の南都焼き討ちで焼失した東大寺再建の勸進職に任じられ、この後86歳で示寂するまでの25年間に東大寺の再興に捧げることになった。

東大寺再興の費用をまかなうため造営料国として文治2年(1186)に周防国(山口県)が当てられていたが、建久4年(1193)には備前国が追加されて、周防国からは良材が、備前国からは瓦が供給された。瓦用の窯は瀬戸町万富に

築かれ、ここで焼かれた瓦は吉井川から積み出されて瀬戸内海を奈良へ運ばれた。

備前国が東大寺の造営料国に当てられ、重源に与えられたことから、岡山市の古刹金山寺には、金山寺の僧が本堂と末寺の修理工田3町歩をもとのように免田にして欲しいと願い出たものに重源が裁許を与えた文書が残り、岡山県南部には重源ゆかりの地も多い。

重源が自らの事跡を書き記した「南無阿弥陀^{さぜんしゅう}仏作善集」には、備前国内で常行堂を建て丈六の阿弥陀如来を安置したこと、国府に大湯屋を建てたこと、国内の貴賤を勧進して船坂山を切り掃い、路を整備して旅人の難儀を救ったこと、国内の22カ寺を修造したことのほか、作善が備中国にまで及んだことも見える。付近から「東大寺」の刻印のある瓦が出土していることから、常行堂は岡山市一宮の吉備津彦神社境内の東南の辺り、大湯屋は岡山市湯迫の浄土寺境内と推定されている。

重源は真言宗の僧であったが、自らを「南無阿弥陀仏」と称し、各地に阿弥陀堂や阿弥陀如来像を建立するなど、その事跡を特色づけているのは阿弥陀信仰である。それは鎌倉新仏教とよばれる新しい仏教が興隆した時代に、旧仏教のなかに生れた新しい流れであったということが出来る。

重源について触れた著作では、「南無阿弥陀仏作善集」を全文収録した『俊乗房重源史料集成』が必読。ほかに『俊乗房重源の研究』・『日本名僧論集』など多数がある。

うち当館の参考図書 ⑩4

インターネット教育イエローページ99年版
(旬報社 1999)

日本の教育現場にインターネットが本格的に活用されて今年で5年が経過した。1994年に通産省と文部省によって開始された100校プロジェクト以降、様々なプロジェクトの実施とともにネットワーク環境も整いつつある。2001年度までに全公立学校はインターネットに接続されるという。本書はこうした教育現場で、インターネットをいかに活用していくか、ヒントや情報が得られるよう編集されている。

収録データは、「検索・情報」「子どものページ」「教育プロジェクト」「健康・生涯・子育て」等の16の分野・領域にくくられてサイトが掲載してある。その数およそ8000件。第部の「おすすめ教育サイト」では内容を紹介したミニ解説とリンク先があり、より有効に効率よく情報を得る手がかりとなる。



新着郷土資料紹介

- 山陽新聞百二十年史 山陽新聞社刊 1999
99頁
- 神楽尾 神楽尾城跡保存協力会10周年記念誌
神楽尾城跡保存協力会刊 1999 205頁
- 吉備回廊 山陽新聞社編 山陽新聞社刊 1999
223頁
- 落合町史 地区誌編 落合町刊 1999 960
頁
- 光政と綱政 近世岡山の人づくり 劇画・郷
土の歴史 タケバヤシ哲郎画 岡山放送刊
1999 155頁
- 岡山のレジャー地 岡山文庫198 倉敷ぶん
か倶楽部編 日本文教出版刊 1999 173頁
- 旭竜 清流と蛍の郷 旭竜学区まちづくり研
究会刊 1999 1枚
- 牛窓を歩く 岡山文庫197 前川満編著 日
本文教出版刊 1999 181頁
- おかやまいエローページ 99年度岡山市版

岡山市で暮らす人のための生活便利ブック エ
ディターズ刊 1999 184頁

分権時代のまちづくり 足元を掘れ、そこに
泉が湧く 坂本忠次著 自然生活社刊 1999
150頁

開業、創業マニュアル 起業家のための手引
き書 中小企業診断協会岡山県支部編著 岡山
市商工観光部商業労政課刊 1999 79頁

さあ旅に出かけよう ハンディのある人のた
めの岡山県観光ガイドブック 福祉ガイドマッ
プおかやまをつくる会編 岡山市社会福祉協議
会刊 1999 88頁

岡山東商百年史 岡山東商業高等学校刊
1999 1011頁

くらしきの水草 倉敷市市民局環境保全部環
境保全課刊 1999 29頁

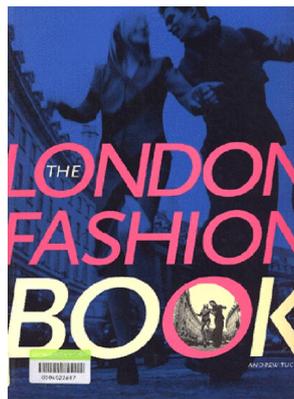
悠久 吉備和歌百選 坂本宏子編集 岡山市
吉備地区地域活性化推進実行委員会刊 1999
88頁

メルヘンの里の童話12 新庄村創作童話入賞
作品集 新庄村教育委員会刊 1999 62頁

外国語資料紹介

The London Fashion Book
(ed by Andrew Tucker / Thames and
Hudson Ltd. / 1998)

今や、世界のファッ
ションの最先端の地と
して知られるように
なったロンドンは、独
特の刺激的で風変わ
りな雰囲気により、世
界中のデザイナーを引
きつけ、他のファッ
ション都市の羨望の的
となっている。特に、
ここ10年の間に多くの
新進デザイナーが台頭
し、比類なき独創的な
才能を開花させてきた。



真のロンドン・ファッションとはどのようなものか。ロンドンを世界のファッションの中心と呼ぶ要素は何なのか。創造性は、どこから生み出されてくるのか。本書は、それらの疑問に答えながら、ロンドン・ファッションの魅力を多くの美しい写真とともに紹介しているのである。

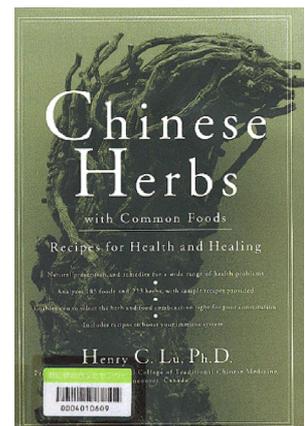
Chinese Herbs

(ed by Henry C. Lu, Ph. D. / Kodansha
International / 1997)

料理にハーブを使うのは、古来、中国の伝統であるが、西洋では、その効能は比較的知られていないし、ハーブの恩恵についての記載もほとんど見あたらない。

本書では、ハーブを料理に使う「漢方料理」により、疾病の自然治癒、免疫形成、健康増進などに効果があることが、わかりやすく解説されている。

著者は、開業医として25年の経験を持つカナダ在住の中国人医師。初めてハーブの効能について英語で書かれた本書では、個々の病気によく効くハーブと食材の組み合わせ例を挙げながら、簡単でおいしい料理法を紹介している。ハーブが求めやすいように、漢字名も記入されている。是非一度は試してみたい漢方料理が目白押しである。



随想

日本の教育事情を見て思う

キク ギョクカ
鞠 玉華 (岡山大学・県立大学・就実女子大学非常勤講師)



1994年のお盆、私は岡山県作東町へホームステイに行く機会を得た。わずか六千人余りの村には6つの小学校、1つの中学校がある。

日本では田舎へ行けば行くほど立派な建物は殆ど学校であり、台風や地震などの避難場ともなっている。そして、公民館や文化センターや図書館など大衆教育の施設もかなり発達している。

作東町の文化祭で展示された70才、80才のお年寄りが描かれた絵や、書などの素晴らしい作品を見て、日本が教育の先進国になったのは戦後の努力だけではなく、明治維新以来、たゆまない努力の賜物であることが確かめられた。

「日本の現在の繁栄は、一世紀あまりの教育、技術、人的資源などの蓄積と進歩を前提としている」ことを繰り返し本で学んだが、これを作東町で改めて知った。

「どうして今日の日本の繁栄があるか」という疑問は、私が日本に来て以来、頭から離れたことはなかった。今のところ、日本の成功の原因は、憲法政治と初等教育の普及にあると考えている。

江戸時代末期、男子の45%、女子の15%が寺子屋、私塾、藩校など、なんらかの学校に通い、かなりの読み書き能力をもっていた。明治維新後、「教育は国民に等しく与えられる」という国家の理念の下に、国民一般の教育に重点がおかれた。こうやって不就学率は明治の終わりごろにはゼロに近づき、10年後の1920年には文盲もほぼ消滅した。

読み・書き・算盤の最小限の能力や自然に

いての教育が新しい生産人としての基礎的な能力を育成した。つまり、初等教育の普及によって培われた、国民の高い文化レベルは、その後の社会の急激な変革への適合、近代技術の導入の基本的条件になった。

戦後も、戦前にすでに達成された初等教育に加えて、前期中等教育が義務化された。高等学校への進学率は、1995年には96.8%に至り、「準義務教育」に達した。また、戦後の沢山の経済計画の中に、科学技術振興や、人的能力の向上などの教育計画が組み込まれ、人材養成と科学技術の振興を重視し、教育事業を全力で展開した。これによって、程度の高い労働力を増加させ、生産力の向上に役立ったのである。

『日米教育の課題』という書で、アメリカの研究グループの述べた「他のほとんどの工業国と比べて、日本では教育と経済のかかわりが密接で効果的であると思われる。経済の需要に応じて、より柔軟で生産性の高い労働力を効率よく生み出しているのである。その主たる原因は高い水準にある基礎教育の持つ重要な役割、規律性に富んだ労働習慣、そして集団の結合力など、すべて学校で学ぶ事柄にある。」という見方は妥当であると思う。日本の教育は産業経済の発展、経済大国、技術先進国としての地位を築くに当たって、大きな役割を果たしてきたと言える。

最近の中国では、基礎教育をいかにして「受験教育」から「資質教育」へ転換するかが、教育改革のひとつの重大な問題として研究されている。私は6年間の日本での研究の成果を祖国に紹介し、日本教育の発展の歴史をふまえ、中国の教育の現代化が早く、そして円滑に進展するように提言したい。

お知らせ

平成11年度第1回「世界お話の旅」韓国編 開催

当文化センターには、約5,000冊の外国語の絵本があります。

「世界お話の旅」は、外国人講師に、当館の絵本の読み聞かせや母国の紹介をしていただくことを通して、子どもたちに外国をより身近に感じてもらい、国際理解を深めるためのものです。歌やゲーム、質問コーナーで外国人講師との交流もはかります。

1. 日時 平成11年7月24日(土)午後2時~3時30分
2. 会場 岡山県総合文化センター 第一会議室〔3階〕
3. 講師 河 智弘(ハー・チホン) 就実女子大学大学院生
4. 内容 「うさぎのきも」「親孝行のシム・チョン」など韓国民話のなかで、現代もなお親しまれている絵本を紹介し、韓国の言葉や歌・文化にふれる。
5. 対象 おもに小学生とその保護者。一般の方も歓迎。

入場無料。
申し込み手続き不要。
説明は日本語で行います。
駐車場に限りがありますので、
公共の交通機関を利用して
おいでください。
お問い合わせは、国際資料係まで。
086 - 224 - 1286

平成11年

8・9月の催物案内

岡山県総合文化センター

ギャラリー（開場時間 9:00～17:00）

期間 (週)	第1展示室		第2展示室	
	大室	小室	大室	小室
8/3～ 8/8	第41回東中国自由美術展(巡回展) 絵画55点,彫塑10点 自由美術協会岡山支部 入場無料		さわらび会第6回墨彩画展 墨彩画(額装他)約130点 さわらび会 入場無料	白青会・杏林画会合同展 油絵,日本画約40点 白青会 入場無料
8/10～ 8/15	第12回国際架橋書展(国展) 書約1,000展 国際架橋書会 入場無料		第30回柱友会書展 創作(漢字,かな,近代詩文,少字数約100点) 柱友会 入場無料	
8/17～ 8/22	第30回玉籠会展 書35,墨象15,絵画5,陶芸5,写真15,陶芸10点 玉籠会 入場無料	第15回蒼秋展 油絵30点 夢想庵グループ 入場無料	99全日本写真連盟岡山県本部展 ・第55回朝日写真展(巡回展) 写真約250点 全日本写真連盟岡山県本部 入場無料	自詠書展 書約50展 岡山県書と歌の会 入場無料
8/24～ 8/29	公募第21回玄画会展覧会 洋画,水彩画,日本画,水墨画,工芸約130点 玄画会 入場料500円		第50回岡山県美術展覧会準備 [8/30 審査会]	
9/8～ 9/12	第50回岡山県美術展覧会 期 書約1,500点 岡山陽新聞社 入場料:一般700円(期・期),学生300円(期・期),老人無料			
9/15～ 9/19	第50回岡山県美術展覧会 期 書約1,500点 岡山陽新聞社 入場料:一般500円(期のみ),学生200円(期のみ),老人無料			
9/21～ 9/26	ライオンズクラブ合同美術展 油絵,日本画,書道,工芸,行状約140点 市内ライオンズクラブ 入場無料	第13回竜墨書道会展 書作品約60展 竜墨書道会 入場無料	チャールズ会岡山秋季展 洋画78点,日本画12点 チャールズ会岡山 入場無料	第20回南画清風会選抜展 南画(軸装,額装)約60点 南画清風会 入場無料
9/28～ 10/3	第24回岡山県教職員美術展 日本画,洋画,版画,彫刻,写真,書道約350点 岡山県教育職員互助組合 入場無料			

ホール(固定席282席)

日(曜)	催物	時間	入場料	主催者
8/1(日)	山田利子ピアノ教室発表会	9:30～11:30	無料	山田利子ピアノ教室
8/6(金)	「少年の主張」岡山県大会	9:30～16:30		(社)岡山県青少年育成県民会議
8/7(土)	ピアノ発表会	10:30～12:00	無料	前田音楽教室
8/8(日)	バイオリン発表会	13:00～16:00	無料	兼信バイオリン教室
8/11(水)	演劇公演「祭よ,今宵だけは悲しげに～銀河鉄道の夜」	未定	無料	就実女子大学演劇部
8/14(土) 15(日)	演劇公演「夜曲 - ノクターン - 」	18:00～20:00 14:00～16:00	1,000円	劇団バース
8/19(木)	第13回岡山県高等学校吟剣詩舞発表会	10:00～12:00 13:00～15:00	無料	岡山県高等学校芸術文化連盟
8/22(日)	ピアノ発表会	10:00～16:00	無料	榎原ひとみピアノ教室
8/26(木)	ヤマハティーンズミュージックフェスティバル岡山大会	13:00～18:00	無料	ヤマハティーンズミュージック
8/28(土)	ピアノ発表会	13:30～16:30	無料	山口・山本ピアノ教室
8/28(土)	映画「教えられなかった戦争・沖縄編」上映会	18:30～20:30	1,200円	「教えられなかった戦争・沖縄編」上映実行委員会
8/29(日)	ピアノ発表会	10:00～16:00	無料	石井ピアノ会
9/1(水)	文化センターホール使用抽選会	9:00～12:00		岡山県総合文化センター総務課
9/5(日)	ピアノ発表会	14:00～16:00	無料	さくらんぼ会
9/11(土) 12(日)	演劇公演「世紀末の子供達」 親と子の関係,そして愛とは? 一緒に考えませんか?	14:00～15:30 18:00～19:30 14:00～15:30	1,000円	劇工房「猫魔(ニヤマ)」
9/18(土) 19(日)	第303回文化センター土曜劇場 演劇工舎:ゆめ公演 [寝室 - ベッド・ルーム -]	18:00～20:30 13:00～15:30	前:大1,500円 小1,000円 当:大1,800円 小1,300円	岡山県総合文化センター
9/23(木)	ギター発表会	13:00～15:00	無料	吉岡ギター教室
9/26(日)	平成11年度寿吟剣詩舞大会	10:00～15:00	無料	岡山県吟剣詩舞道総連盟

抽選会は,12/1(4～6月)・3/1(7～9月)・6/1(10～12月)・9/1(1～3月)です。

ただし,使用目的は,ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等,営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。

会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員

平成11年度岡山県総合文化センター友の会会員を募集中。(詳細は文化センター総務課まで)

催物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。